

## 花豆の認証出荷が始まりました!

【化学合成農薬・化学肥料3割以上削減】



甲斐のこだわり  
環境農産物

甲斐のこだわり環境農産物シールと花豆



認証出荷が始まりました

北杜市清里地区では、高い標高を活かし、花豆の栽培が行われています。この特産品の生産振興を図るため、生産者5名が『甲斐のこだわり環境農産物』の認証出荷に向け取り組みを開始しました。認証を受けるためには、化学合成農薬および化学肥料を県基準より3割以上削減する必要があります。

中北地域普及センターでは、認証制度に必要な花豆の県基準の策定や認証に必要な計画書の作成など、認証に向けた取り組みを支援してきました。その結果、JA梨北（認証機関）の認証を得て、昨年12月から認証出荷が始まりました。

今後も栽培講習会を通じ、認証出荷に取り組む生産者の拡大を図るとともに、産地としてのブランド化に向け、支援していくこととしています。

八ヶ岳山麓で育てた大きな花豆、ぜひご賞味下さい! (問い合わせ先 0551-23-3291)



計画書の作成支援を行いました



企業の視察がありました

## ピラミッドアジサイで地域おこし

富士川町小室地区は、県内外から多数の人が訪れるアジサイの名所です。しかし、通常のアジサイでは鑑賞期間が限られていることから、より花を長く楽しめる品種が求められていました。県総合農業技術センターで選定した「ピラミッドアジサイ」は、従来品種の開花が終わる7月以降に開花し始め、その後も、秋の深まりとともに花色が変化し、秋の終わり頃まで鑑賞できる特性があり、早速、これを導入することになりました。



地元住民を対象とした挿し木講習会



出荷に向けた現地検討会



ピラミッドアジサイの開花の様子



品質向上のため、雨よけ施設とネットの設置

地域住民とともにアジサイの管理を行っている「日出づる里活性化組合」では、おととしから県花き連の研究会への参加や現地検討会を行い、ピラミッドアジサイの栽培について勉強を重ね、今年度は大きく見応えのある花を咲かせることができました。

今後は挿し木による苗の増産、境内への飾花と新たなイベント等の企画、また市場出荷にも挑戦する予定です。普及センターでは、今後もアジサイ等を活用した地域おこしへの支援を継続し、地域の活性化につなげていきます。(問い合わせ先 055-240-4131)

## 果樹農家の所得向上を目指して

峡東農務事務所では、平成22年度から、直売所を活用した果樹農家の所得向上を目指して、JAフルーツ山梨が実施している「野菜栽培営農講座」の開催を支援しています。

講座は実習を中心としており、栽培の基本をはじめとして、育苗方法や被覆資材を使った病害虫防除、小型ハウスやトンネルを利用した周年栽培、直売所出荷農家の見学、直売所での売れ筋品目の分析など、野菜栽培初心者の方が、直売所出荷に向け取り組んでいくのに役立つ内容となっています。

今年度も、4月の開講式に約20名の受講者が参加し、講座がスタートしました。講座の受講生からは、実習の内容以外にも、自身の栽培品目に関するいろいろな質問もあり、活気のある講座となっています。また、農産物直売所への出荷に新たに組み込む農家も出ており、今後、直売所への野菜出荷による果樹農家の新たな所得確保が期待されています。

(問い合わせ先 0553-20-2830)



直売所出荷農家のほ場を見学



葉物野菜の種まきを実習



## アッサムニオイザクラ研究会の 販売力強化に向けた取り組み

富士北麓地域では花き生産農家が多品目の花を生産し、県内でも有数の花き産地を形成しています。中でもアッサムニオイザクラの生産量は全国一位を誇っています。その生産者で組織する「アッサムニオイザクラ研究会(13名)」では、生産技術や鉢花品質の向上に向け、常日頃から研鑽を重ねているものの、近年の鉢花単価の低下や燃油高騰等に伴う収益率の悪化が顕在化してきており、この対策が求められています。

そこで、当普及センターでは総合技術普及センターとともに、研究会員が育成した新品種「紅富士」が、今年から本格出荷を迎えることを契機に、有利販売に向けた共同受注や共同販売の体制づくりを支援してきました。具体的には、市場商談会への出展や市場関係者を呼んでの現地商談会等の様子を産地情報として積極的に発信し、「品質が均一で安定している産地」であることをアピールしてきました。その結果、このことが市場関係者へも周知され、有利販売に向けた体制づくりに結びついています。

当普及センターでは、引き続き、市場と産地をつなぐ支援を行い、アッサムニオイザクラの更なる販売力強化につなげていきます。(問い合わせ先 0554-45-7832)



市場展示会にて産地情報を発信



市場関係者を呼んだ現地商談会



「紅富士」従来よりも花色が濃く花落ちがしにくい